

2 号 消 火 栓 の 部 操 作 要 領（令和 8 年度）			
実 施 項 目	指 揮 者	1 番 員	備 考
事 前 準 備			
資器材準備	① 受付でプラカードを受領し、ビブスは、次隊待機位置で係員から3名分(防火管理者も含む)受領し、装着する。 ② 自己隊のプラカードをプラカード設置場所★ ⁰ に立てる。 ③ 待機位置(机)★ ¹ に指揮者、1番員の各ヘルメットと手袋を設定する。 ④ 全員の準備(服装含む)が完了したら、事務室前の整列位置★ ² で自主整頓し、指揮者の「整列休め」の号令で待機する。		※ビブスは、自己隊で用意したものを使用可能とします。自己隊のビブスを使用する場合は、待機場所に来る前に装着しておいてください。
審 査 開 始			
人員確認 待機位置に移動	(紹介アナウンス後) 事務室前の整列位置★ ² から列を外れ、整列している1番員の前に移動し、指揮者が気をつけの状態から、1番員に対し、「 気をつけ、待機位置につけ 」と号令し、1番員の「よし」の呼称で、待機位置★ ¹ へ移動し、椅子に着席する。	指揮者の号令まで、事務室前の整列位置★ ² に整列休めの姿勢で待機する。 指揮者の「気をつけ」の号令により、気をつけをする。 指揮者の「待機位置につけ」の号令に「 よし 」と呼称し、待機位置★ ¹ へ移動し、椅子に着席する。	※整列位置に整列後、本部テントより、出場隊の紹介アナウンスが流れます。
待機位置	指揮者は1番員が着席し、準備が完了した時点で、「 準備よし 」と呼称する。 係員が赤旗を揚げたら、指揮者は起立・挙手して、「〇〇 自衛消防隊準備完了 」と報告し着席する。	着席のまま待機	※指揮者の「準備よし」と呼称後、係員が赤旗を揚げます。
地 震 発 生			
地震発生	緊急地震速報が流れたら、指揮者が起立後、1番員も起立するので、「 地震発生、身の安全を図れ。 」と下命し、指揮者自身も机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がる。 1番員が立ち上がるのを目視したら、「 異常はないか？ 」と確認する。 1番員の報告後に、「 余震に備えて、ヘルメットを着装せよ 」と下命する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称後、1番員の着装を確認後着席する。	緊急地震速報が流れたら、指揮者に続き1番員も起立し、指揮者の「地震発生、身の安全を図れ。」の下命後、「 よし 」と呼称し、机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がる。 指揮者の呼び掛けに対し、「 1番員異常なし 」と報告する。 指揮者の下命に対して、「 よし 」と呼称する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称して着席する。	※緊急地震速報の後に、地震の擬音が流れます。 全隊員が机の下で身を守る態勢がとれたことを確認できたら、係員が「 地震が収まりました。 」と合図します。 ※指揮者の号令・下命に対する応答呼称の「よし」は、「 よし 」又は「 了解 」のどちらでも可とします。(以下共通)
火 災 発 生（自衛消防隊 初期活動開始）			
自火報発報 待機指示	ベル鳴動後、「 自火報^注発報 」と呼称し、起立する。 1番員に対し「 次の放送を待て 」と下命する。	ベルが鳴動し、指揮者が「自火報 ^{注1} 発報」と呼称したら「 自火報^注発報 」と復唱・起立する。 指揮者の「次の放送を待て」の下命に対し「 よし 」と呼称する。	※指揮者の自火報発報の合図から 全体タイムの測定を開始します。 注 自火報＝自動火災報知設備 ※全隊員がヘルメットを着装して着席後、係員がベルを鳴動します。
手袋着装 現場確認指示	係員が「 <u>こちらは防災センターです。ただいま5階西側で自動火災報知設備が作動しました。現在確認中です。次の放送をお待ちください。</u> 」と案内放送を流し始めたら、指揮者・1番員は、「 手袋着装 」と呼称しながら手袋の着装を始める。 (放送を受報後)指揮者は、「 1番員は5階西側の確認に向かえ。指揮者も後から向かう。 」と下命する(指揮者は、手袋を着装したまま下命し、正対は不要)。1番員は、「 了解 」と呼称する。 手袋着装後、「 手袋よし 」と各自呼称する。		※着装は立った状態で行う。 ※着装が始まったら係員が防災センターで「 <u>こちらは防災センターです。ただいま5階西側で自動火災報知設備が作動しました。現在確認中です。次の放送をお待ちください。</u> 」案内放送を1回行います。
案内拡声 現場確認	手袋着装後、事務室前(テントから約1mの位置で)で拡声器を使用し、「 自衛消防隊です。ただいま自動火災報知設備が作動しました。現在確認中です。次の案内をお待ちください。 」と在館者に対し、案内を 2 回実施する。 案内終了後、拡声器を机に置き、停止位置★ ⁵ へ向かう。 指揮者は火点室に向かう途上にある消火器を「消火器よし」と呼称し、持参、停止位置★ ⁵ で停止し、消火器を置く。	手袋着装後、事務室の消火器を持ち「 消火器よし 」と呼称、現場に向かい停止位置★ ⁵ で停止し、消火器を置き、火点室入口に表示されている白煙を確認後、「 5階更衣室、白煙確認 」と 指差し 呼称する。 「5階更衣室、白煙確認」呼称後、火点室入口ドアを約15cm程 ゆっくり両手で開け室内を確認し、「内部延焼中 」と呼称、すぐに火点室入口ドアを閉める。	※拡声器は消防署で準備するが、自己隊で用意したものを使用可能とする。 ※★ ¹⁶ 赤線(活動範囲ライン)以降を火点活動ゾーンとします。 ※火点室入口ドアは「 外開き 」
状況報告	火点室付近に来たら、「 指揮者到着 」と呼称し、状況報告位置★ ⁶ で1番員前と正対する。 ①指揮者は1番員に「 状況報告せよ 」と下命する。 ③1番員の報告後、「 了解、1番員は消火器で消火を実施せよ。 」と下命する	火点室付近に指揮者が来たら、状況報告位置★ ⁶ で指揮者と正対する。 ②指揮者の「状況報告せよ」の下命に対し、「 5階更衣室内、延焼中 」と報告する。 ④指揮者の下命に対し「 了解 」と呼称する。	
119 番通報 消火器による 初期消火	1番員の報告後、指揮者は待機位置★ ¹ に向かい、119番通報と防災センターへの報告を行う。 <u>電話機1★³で119を押す。</u> 「消防庁、火事ですか？救急ですか？」 「 火事です。 」 「消防車の向かう住所を教えてください」 「 港区〇町〇丁目〇番〇号の〇〇ビルです。 」 (※ <u>自隊の建物住所と建物名を通報すること。</u>)	了解の呼称後、搬送した消火器を 火点室入口ドアに搬送する。 消火器を手に取り、火点室前で「 安全ピンよし 」、「 ホースよし 」、「 準備よし 」と呼称する。 準備が完了したら、 ドアをゆっくりと片手で開け、「ドア開放 」と呼称し、火点室入口(放水開始位置)★ ⁷ から「 放射 」の呼称と同時にレバーを握り、消火器標的★ ⁸ に向かって放射する。 消火器を放射しながら、1.5m 先の消火器進入位置★ ^{7a} まですり足で内部進入し、「 火事です。誰かいますか、避難してください。 」と声をかけながら初期消火を実施する。	※ドア開放後は、係員がドアの保持を交代します。1番員がドアを閉鎖する際には、再度交代します。 ※消火器の放射は、係員が15秒計測します。 ※退路を確認しながら火点室から退出する際は、火点に背を向けないでください。

実 施 項 目	指 揮 者	1 番 員	備 考
	(119番通報の続き) 「何階の何が燃えていますか？」 「5 階の更衣室が燃えています。」 「わかりました。消防隊ただちに向かいます。」 通報を終了し、受話器を置く。 電話機2★⁴で、仮想防災センターに「5階地区隊です。5階更衣室が延焼中です。119番通報完了。初期消火実施中です。」と連絡する。 連絡後、火点室に向かう。 (初期消火中の場合は、火点室入口ドアの前で1番員の初期消火を監視する。) 指揮者は、「指揮者到着」と呼称し、状況報告位置★⁶で1番員と正対し、「状況報告せよ」と1番員に下命する。	係員の「消火不能」の合図で「消火不能」と復唱し、消火器を活動に支障ない位置に置き、「退路確認、退路よし」と呼称し、退路を確認しながら退出し、速やかにドアを両手で閉鎖する。 状況報告位置★⁶で指揮者と正対し、指揮者の「状況報告せよ」で「消火器による消火不能、逃げ遅れ・けが人なし。」と報告する。	※火点室付近で活動する際は、姿勢を低くして対応する際も手や膝を床につかないでください。 ※係員は、「消防庁、火事ですか？救急ですか？」から「わかりました。消防隊ただちに向かいます。」まで応答してください。 仮想防災センターの係員は、指揮者の報告後、「了解」と呼称します。
屋 内 消 火 栓 の 操 作			
操作開始	1 1番員の報告に対し、「 了解、ただいまから屋内消火栓に移行する。操作始め 」と下命し、1番員の「よし」の呼称で、監視位置★ ¹⁰ に向かい、1番員の操作状況を気をつけの姿勢で監視する。	2 指揮者の下命に対し「 よし 」と呼称し、屋内消火栓★ ⁹ に向かって走る。 消火栓の前に到着後、「 扉開放 」と呼称し、消火栓扉を開放する。 左手で筒先を持ち、「 ハルブ開放 」と呼称し、右手で消火栓バルブを全開にし、「 ハルブ全開 」と指差し呼称する。 「 ホース延長 」と呼称し、持ったホースを腰で支えて火点室に向かう。	※指揮者の「～操作はじめ」の「 め 」から 消火栓タイムを測定開始する。
ホース延長	3 1番員の「ホース延長」の呼称で、火点室に先行する。		
放 水	①火点室入口(放水開始位置)★ ⁵ の手前の位置で、1番員に対し「 止まれ 」と停止位置を指差し呼称示す。 指揮者がドア入り口のドアノブを「ドア開放」と呼称しながらゆっくりと両手でドアを開放し、ドアを保持する。1番員に対し、「 放水はじめ 」と下命し、放水開始位置★ ⁷ で1番員の放水状況を監視する。	②指揮者の示す(白線と白線の間)で停止し、放水開始位置★ ⁷ で指揮者の「放水はじめ」により、「 放水はじめ 」と呼称し、放水を開始する。 消火栓標的★ ¹² に向け放水し標的を倒す。	※指揮者の監視位置★ ¹⁰ については、ホース延長に支障のない任意の位置とするが、屋内消火栓から概ね 2.5mの位置とします。
進 入	④1番員が屋内消火栓進入位置★ ¹¹ まで進入したのを確認したら、火点室内の適宜安全な位置に移動して、操作を監視する。	③標的が倒れたら、「 進入 」と呼称し、すり足で火点室内の消火栓進入位置★ ¹¹ まで進入し放水を継続する。	※ 消火栓の標的が倒れた時点で、消火栓タイムの測定が終了します。
消火栓放水停止	係員の「放水止め」の合図で、1番員に対し「 消火栓、放水止め 」と下命する。	指揮者の「消火栓、放水止め。」の下命に対し、「 消火栓放水止め 」と呼称し、筒先バルブを閉鎖して放水を停止する。 筒先の先端を右手で持ち、左足を引きつけ、気をつけの姿勢で次の指示を待つ。	※指揮者が火点室内の監視位置に到着したら、係員が「 放水止め 」と合図します。
本部隊への報告	放水停止の下命後、駆け付けた本部隊(係員)の「本部隊到着」の呼称を聞いたら、状況報告位置★ ⁶ に移動し、本部隊に正対する。 本部隊の「状況報告せよ」に対し「 5階更衣室より出火、消火器による消火不能、屋内消火栓により消火完了、逃げ遅れ・けが人なし 」と報告する。 ※指揮者は本部隊への報告後、その場で待機し、係員の次の指示を待つ。	指揮者の報告が終わるまで待機	指揮者の放水停止の下命後、本部隊(係員)は、指揮者に「 本部隊到着 」の呼称をし、「 状況報告せよ 」、指揮者の報告後「 了解 」とそれぞれ呼称する。 ※ 指揮者が本部隊に報告後、全体のタイム測定を終了します。
収 納	1. 係員の「収め」の合図で、1番員に対し「 消火栓収め 」と下命する。 指揮者は、駆け足で終了報告の 指揮者終了位置★¹⁴ に向かう。	2. 指揮者の「消火栓収め」の下命に対し、「 よし 」と呼称する。筒先をその場に置き、回れ右をして、駆け足で屋内消火栓★ ⁹ に向かう。 開閉バルブを両手で閉鎖し「 ハルブ閉鎖 」と呼称、バルブ閉鎖後「 ハルブ閉鎖よし 」と指差し呼称をする。 その場で火点方向を向いて基本の姿勢をとり「 消火栓よし 」と呼称する。	※指揮者が本部隊への報告後、係員が「 収め 」と合図します。
点 検 報 告 ・ 活 動 報 告			
点検報告	1番員が隊員終了位置★ ¹³ に整列した時点で、気をつけの姿勢で「 点検報告 」と下命し、1番員からの異常の有無の報告に対し、「 よし 」と答える。	隊員終了位置★ ¹³ に気をつけの姿勢で整列後、指揮者の「点検報告」の下命により、指揮者に対し「 異常なし 」と報告する。(異常があった場合は、内容を報告すること。)	※服装の乱れは点検報告前に修正すること。 ※点検報告時の小角度の方向変換については任意とする。
防火管理者への活動報告	1番員からの点検報告後、指揮者は回れ右をして防火管理者側★ ¹⁵ に向き直り、挙手敬礼し、以下の項目を報告する。 「 5階更衣室より出火、消火器による消火不能、屋内消火栓により消火完了、逃げ遅れ・ケガ人なし。 」と報告し、挙手敬礼を行う。	指揮者の報告が終わるまで待機	※指揮者の答礼までの行動を 審査 とする。
	※防火管理者は、指揮者と隊員が終了位置(★ ^{13,14})に戻った時点で、コース外直近から 防火管理者位置★¹⁵ に移動し、指揮者の挙手敬礼に対し 答礼 し、活動報告を受けること。		※防火管理者はヘルメットを着装してください。
退 場	防火管理者の答礼後、回れ右をして隊員側に向き「 わかれ 」と号令する。 1番員の敬礼に 答礼 し、そのまま右向け右、駆け足でコース外に退場する。	指揮者の「わかれ」の号令で 挙手敬礼 し、指揮者の下命を受け、駆け足でコース外に退場する。	※防火管理者が不在の場合は、訓練指導者等が代行してください。
資器材返却・撤収	※コース外に退場する前に、速やかにビブスを係員に返却してください。 ※プラカードは、閉会式終了後、お帰りの際にお返しいただきますので、退場後も各隊で管理してください。		